

## プラクチカル・シビル・エンジニアリング

### 第 二 號 を 送 り て

○

定價の安い事と、内容の世界的と云ふ點は創刊號に於て非常な歡迎をうけ、宣傳費の少い我々の事業としては先づ前途に充分な光明を認めしめた。

讀者個人としては、此の簡易なる英語工學雜誌を喜んで迎へたであらう、吾々も又必ず喜んで迎へられる事を信じてゐた。果して大小有名無名の技術家から寄せられる讚辭や激勵辭は今日に至るも尙ほ止まないで來てゐる

○

然し同業者としては如何であらう、同業雜誌社としては此の新雜誌の創刊を如何に見るであらうか。讀者と同業雜誌社とは立場が異ふのであるから、讀者が讚成するもの必ずしも他の雜誌社は讚成するものではないと覺悟はしてゐた。

然るに同業雜誌社のエンヂニヤの六月號誌上に於て、長江社長は堂々と長文の讚成意見を發表せられ、また工學研究の七月號誌上に於ては坂田社長が自ら激勵的の辭を公表せられたのは、我々には全く豫想外の事であつた。

○

此丈け同業雜誌社長から激勵され、又一般先輩識者からも讚辭を寄せられるのであるから、我々の努力も決して空しからずである。此際大に宣傳して充分に行渡らせ度いのであるが、宣傳の餘地を認めながらも、中々其費用が得られないで困つてゐる。ポスターも出し度い、同業雜誌に廣告も出し度い、進んで新聞にも廣告を出し度いのであるが、今はそんな宣傳費がない。然し目下の處では實物が何よりの宣傳となつて讀者の層が次から次へと擴大して行きつゝある様だから、或は大した宣傳をしなくとも相當の基礎を固め得ると思つてゐる。

○

元來中等程度の工學校出の若い技術家を目標に出版したものであり、其方面を宣傳したものであるが、實際は其れ以上に及び、福岡縣土木部長の坂本一平氏や、大阪市の港灣部長近藤博夫氏や 熊本縣の土木課長榑井照藏氏など知名な購讀申込者もある。其他に於ても知名の技術家で購讀を申込れた人も可なりあるが、其何れも其役所なり會社なりの技術家を多數に紹介して下さつた事である。例を見ると札幌土木出張所の杉森所長の所では三十餘名、熊本建設事務所の釘宮所長の所では三十餘名、宇都宮の栃木縣廳の川越土木課長の所で三十餘名、其他府縣廳や 市役所、鐵道關係方面からの纏つた申込は主任者の好意に依つたと思はれるものが多數である。

信濃川電氣事務所や、盛岡建設事務所や 各鐵道局の申込は、課長などの盡力ではないかも知れないが、相當多數に纏つた申込である。

○

高知縣の縣廳や、高知の市役所などからの多數纏つた申込も意外とする處であつた。

殖民地方面は又非常な好評を以て迎へられ、朝鮮丈けでも、すでに千數百に達してゐる。

滿洲新京の民政署其他滿鐵關係方面にも直接の申込が可なり來てゐる様である。

此外に纏つた申込では公私立の工業學校が多數にある。

斯くしてプラクチカル・シビル・エンジニアリングは、我國上下の總々の技術者階級に、愛讀せられんとしつゝある事を認め得るのである。

尙ほ此際識者各位の一層の御後援を乞ふと同時に、益々内容の充實を期するつもりである。

○

新に事をするには、何時も多少の反對や妨害は生ずるものであるが、今回は割合に少なかつた。然し如何なる種類の妨害があらうと我等は唯信ずるが儘に進むのみだ。(七月二十三日)